

三四六三番

ま遠くとほの野のにも逢あはなむ 心こころなく 里さとのみ中なか
に 逢あへる背せなかも

三四六四番

人言ひとことの 繁しげきによりて まを薦こもの 同おやじ枕まくらは 我わ
はまかじやも

三四六五番

高麗錦こまがしき 紐解ひもとき放さけて 寝ぬるが上へに あどせると
かも あやにかなしき

三四六六番

まかなしみ 寝ぬれば言ことに出いつ さ寝ねなへば 心こころの
緒をろに 乗のりてかなしも